

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650) 人物の動作表現	5月TOEIC受験対策
学科名	国際観光大学併修科	必須・選択	選択必須	2	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650) 物に関する描写	5月TOEIC受験対策
学年	2年	担当教員	阿部/皆川	3	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650) 疑問詞を使った疑問文	5月TOEIC受験対策
科目名	English Strategy TOEIC650突破	時間数	170単位時間	4	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650) 依頼・提案・申し出	5月TOEIC受験対策
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650) 週1～週4までの復習	5月TOEIC受験対策
使用テキスト名	TOEICテスト公式問題集/TOEICテスト書き込みドリル(スコア650)/DUO			6	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650) 店・ホテルなどでの会話	7月TOEIC受験対策
補助教材				7	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650) 電話での会話	7月TOEIC受験対策
				8	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650) オフィスでの会話	7月TOEIC受験対策
科目概要と科目到達目標				9	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650) 週6～週8までの復習	7月TOEIC受験対策
TOEIC350点から500点の学生を対象に、650点突破を目指す。				10	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650) 留守電メッセージ	7月TOEIC受験対策
				11	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650) アナウンス・広告・ニュース	7月TOEIC受験対策
				12	TOEICテスト書き込みドリル(スコア650) 週1～週11までの総復習	7月TOEIC受験対策
				13	TOEICテスト公式問題集 P38～41 DUO section1～3	11月TOEIC受験対策
				14	TOEICテスト公式問題集 P42～45 DUO section4～7	11月TOEIC受験対策
授業の進め方・学習方法・課題				15	TOEICテスト公式問題集 P51～54 DUO section8～10	11月TOEIC受験対策
問題集を使用した実践形式のリーディング問題に慣れることにより得点力の向上を狙う。				16	TOEICテスト公式問題集 P55～58 DUO section11～13	11月TOEIC受験対策
繰り返し音声を聞くことにより、音声を記憶する。				17	TOEICテスト公式問題集 P59～62 DUO section14～17	11月TOEIC受験対策
ミニテストによる学習進捗状況の確認。				18	TOEIC直前テスト勉強	11月TOEIC受験対策
				19	TOEICテスト公式問題集 P63～66 DUO section18～20	11月TOEIC受験対策
				20	TOEICテスト公式問題集 P67～70 DUO section21～23	11月TOEIC受験対策
評価方法・成績評価基準				21	TOEICテスト公式問題集 P71～74 DUO section24～27	11月TOEIC受験対策
①定期試験 50% ②授業への積極的参加(出席率) 20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				22	TOEICテスト公式問題集 P75～78 DUO section28～30	11月TOEIC受験対策
【成績評価基準】				23	TOEICテスト公式問題集 P79～82 DUO section31～33	1月TOEIC受験対策
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	TOEICテスト公式問題集 P83～P86 DUO section34～37	1月TOEIC受験対策
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	TOEICテスト公式問題集 P87～90 DUO section38～40	1月TOEIC受験対策
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	TOEICテスト公式問題集 P91～94 DUO section41～43	1月TOEIC受験対策
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	TOEIC直前テスト勉強	1月TOEIC受験対策
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	TOEICテスト公式問題集 P95～98、DUO section44～45	3月TOEIC受験対策
				29	TOEICテスト公式問題集 P99～102	3月TOEIC受験対策
				30	TOEICテスト公式問題集 P103～106	3月TOEIC受験対策
				31	TOEICテスト公式問題集 P107～110	3月TOEIC受験対策
実務経験教員の経歴				32	TOEICテスト公式問題集 P111～114	3月TOEIC受験対策
				33	TOEICテスト公式問題集 P115～117	3月TOEIC受験対策
				34	TOEICテストまとめ	

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科	必須・選択	選択必須	1	英検2級総合対策P3～13 出る順で最短合格単熟語EX P3～13	6月受験対策
学年	2年	担当教員	坂上/小林/寺田	2	出る順で最短合格単熟語EX P14～24 リスニング30問	6月受験対策
科目名	English Strategy 英検2級	時間数	170単位時間	3	英検2級過去問題集2015年第1回 解答解説	6月受験対策
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	英検2級総合対策P14～24 2級過去問題2017長文解答	6月受験対策
使用テキスト名	2023年度版 英検2級過去問題集 出る順で最短合格単熟語EX			5	2級過去問題集2015年第2回 解答解説 リスニング30問	6月受験対策
補助教材				6	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング暗唱テスト	6月受験対策
				7	英検2級対策P25～35 2級過去問題2017年第2回長文解説	6月受験対策
				8	短文暗唱テスト8文 単熟語テスト100問	10月受験対策
科目概要と科目到達目標				9	英検2級対策P36～46 2級過去問題集2015年第3回解答	10月受験対策
読む、書く、聞く、話すの4技能を習得し2級取得を目指す				10	短文暗唱テスト出る順で最短合格単熟語EX P25～35解答	10月受験対策
				11	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
				12	英検2級総合対策P47～57 2級過去問題集	10月受験対策
				13	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P36～46	10月受験対策
				14	英検2級総合対策P58～68 2級過去問題集2016年第1回	10月受験対策
				15	英検2級総合対策P69～79 2級過去問題集	10月受験対策
授業の進め方・学習方法・課題				16	短文暗唱テスト 出る順で最短合格単熟語EX P47～57解説	10月受験対策
レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる リスニング対策 ○対面授業と遠隔授業の併用実施				17	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
				18	英検2級総合対策P80～90解答解説 リスニング30問	10月受験対策
				19	英検2級総合対策P91～101 解答解説 リスニング30問	10月受験対策
				20	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング 暗唱テスト	10月受験対策
評価方法・成績評価基準				21	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P58～68	10月受験対策
①定期試験 50% ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 20% ④学習意欲 10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニングテスト	1月受験対策
				23	英検2級総合対策P102～112	1月受験対策
				24	英検2級総合対策P113～123 解答解説2級過去問題単語テスト	1月受験対策
				25	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング 暗唱テスト	1月受験対策
				26	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P69～79	1月受験対策
				27	英検2級総合対策P124～134 解答解説	1月受験対策
				28	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				29	英検2級総合対策P135～145解答解説	1月受験対策
				30	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P80～90	1月受験対策
				31	英検2級対策P146～156解答解説 2級過去問題単語テスト	1月受験対策
実務経験教員の経歴				32	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P91～101	1月受験対策
				33	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				34	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P102～112	1月受験対策

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科	必須・選択	選択必須	1	英検準2級総合対策P2～13 英検準2級英単語1550EX P3～13	6月受験対策
学年	2年	担当教員	坂上/小林/寺田/	2	英検準2級英単語1550 P14～24 リスニング30問	6月受験対策
科目名	English Strategy 英検準2級	時間数	170単位時間	3	英検準2級過去問題集2019年第1回 解答解説	6月受験対策
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	英検準2級総合対策P14～24 2級過去問題2017長文解答	6月受験対策
使用テキスト名	2023年度版 英検準2級過去問題集 英検準2級英単語1550			5	準2級過去問題集2019年第2回 解答解説 リスニング30問	6月受験対策
補助教材	英検準2級総合対策			6	長文和訳テスト リスニング暗唱テスト	6月受験対策
				7	英検準2級対策P25～35 準2級過去問題2019年第2回長文解説	6月受験対策
				8	短文暗唱テスト8文 単熟語テスト100問	10月受験対策
科目概要と科目到達目標				9	英検準2級対策P36～46 準2級過去問題集2020年第1回解答	10月受験対策
読む、書く、聞く、話すの4技能を習得し準2級取得を目指す				10	短文暗唱テスト英検準2級英単語1550 P25～35解答	10月受験対策
				11	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
				12	英検準2級対策P47～57 準2級過去問題集	10月受験対策
				13	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P36～46	10月受験対策
				14	英検準2級総合対策P58～68 2級過去問題集2020年第1回	10月受験対策
授業の進め方・学習方法・課題				15	英検準2級総合対策P69～79 準2級過去問題集2020年第1回解説	10月受験対策
レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる				16	短文暗唱テスト 英検準2級英単語1550 P47～57解説	10月受験対策
リスニング対策を定期的に行う				17	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
対面授業と遠隔授業の併用実施				18	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
				19	英検準2級総合対策P91～101 解答解説 リスニング30問	10月受験対策
				20	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング 暗唱テスト	10月受験対策
評価方法・成績評価基準				21	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P58～68	10月受験対策
①定期試験 50% ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				22	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニングテスト	1月受験対策
【成績評価基準】				23	英検準2級総合対策P102～112	1月受験対策
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	英検準2級総合対策P113～123 解答解説準2級過去問題単語テスト	1月受験対策
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング 暗唱テスト	1月受験対策
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P69～79	1月受験対策
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	英検準2級総合対策P124～134 解答解説	1月受験対策
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				29	英検準2級総合対策P135～145解答解説	1月受験対策
				30	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P80～90	1月受験対策
				31	英検準2級対策P146～156解答解説 準2級過去問題単語テスト	1月受験対策
実務経験教員の経歴				32	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P91～101	1月受験対策
				33	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				34	単熟語テスト100問 長文和訳テスト	1月受験対策

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
学 科 名	国際観光大学併修科	必須・選択	必須	1	現在の航空業界ニュース等	現状の航空業界のサービスなどの情報把握
学 年	2年	担当教員	北村 裕美	2	国内航空約款	約款について 航空券について
科 目 名	航空ビジネスⅡ	時間数	34単位時間	3	国内航空約款	
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	国内航空約款	航空券について
使用テキスト名	月間エアステージ			5	国内航空約款	有効期限
補助教材	ANAグランドスタッフ入門 パワーポイント スライド			6	国内航空約款	航空券の変更 払戻
科目概要と科目到達目標				7	国内航空約款	航空券の延長
				8	国内航空約款	手荷物について
○科目概要:航空業界に必要な基礎知識を始め、航空業界で働く人に必要な専門知識を学ぶ。空港ハンドリング整備・出入国・保安関連業務・機内での業務・オフィスでの業務など様々な職種に対応できる科目である。 ○科目到達目標:航空業界に必要な基礎知識と専門知識を習得し、臨機応変に対応できるよう即戦力になるよう小テストやロールプレイなども併せて到達目標とする。				9	国内航空約款	手荷物について
				10	国内航空約款	イレギュラーについて
授業の進め方・学習方法・課題				11	国内航空約款	イレギュラーについて
				12	航空時刻表の種類と構成	見方
○航空業界の基礎知識を習得するために、毎回小テストの実施。基礎固めができれば、航空約款から始まり、それぞれの航空会社などポイントをまとめて進めていく。 学習方法としては、毎回小テストなどがあるので基礎知識を理解し習得することが課題である。				13	テスト	
				14	国際航空約款	航空券について
評価方法・成績評価基準				15	国際航空約款	有効期限
				16	国際航空約款	航空券の変更 払戻
①定期試験 50% ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				17	国際航空約款	航空券の延長
				18	国際航空約款	手荷物について
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				19	国際航空約款	イレギュラーについて
				20	国際航空約款	イレギュラーについて
実務経験教員の経歴				21	国際線への知識	イレギュラーについて
				22	航空運賃の種類と解説	国内線と国際線の違い
航空会社にてグランドスタッフの国内線、国際線の実務経験あり、航空業界に必要な航空約款や出入国関係法令や専門知識など航空に関わる実務経験7年。				23	出入国の書類の種類と解説	国際線について
				24	出入国関係法令・旅券の種類・査証とは	概要・一般旅券 発給と手続
				25	通関手続きに関する法令	法令とは
				26	CIQについて	様々な職種と役割
				27	出国時の旅具通関・帰国時の旅具通関	通関とは
				28	免税範囲・関税税率	通関とは
				29	輸入禁止品及び輸入規制品	概要
				30	外国為替関係法令	概要
				31	OAGについて	様々な時刻表の見方他
				32	時差と所要時間の計算	計算方法
				33	時差と所要時間の計算	計算方法
				34	テスト	テストをとおしてまとめる

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	好印象を与える表現①	相手への印象を高めるための表現の理解
学科名	国際観光大学併修科	必須・選択	必須	2	好印象を与える表現②	相手への印象を高めるための表現の理解
学年	2年	担当教員	丹田先生	3	依頼の表現①	目上の相手に対する依頼の仕方の理解
科目名	美しい日本語	時間数	17時間	4	依頼の表現②	目上の相手に対する依頼の仕方の理解
開講期間	前期	授業形態	対面授業	5	断りの表現①	言いづらいことの伝え方の理解
使用テキスト名				6	断りの表現②	言いづらいことの伝え方の理解
補助教材	パワーポイント			7	気持ちを伝える表現①	自身の気持ちの丁寧な伝え方の理解
				8	気持ちを伝える表現②	自身の気持ちの丁寧な伝え方の理解
科目概要と科目到達目標				9	繰り返しを避ける表現①	同じ言葉の繰り返しを避ける表現の理解
日本語の多様な語彙や言い回しに触れることで、日常生活やさまざまな場における表現力の向上を目標とする				10	繰り返しを避ける表現②	同じ言葉の繰り返しを避ける表現の理解
				11	会議や打ち合わせの表現①	会議や打ち合わせで用いる表現の理解
				12	会議や打ち合わせの表現②	会議や打ち合わせで用いる表現の理解
				13	訪問・宴会・手紙での表現①	訪問時・宴会の場・手紙で用いる表現の理解
				14	訪問・宴会・手紙での表現②	訪問時・宴会の場・手紙で用いる表現の理解
				15	期末試験	学習内容の修得度の確認
授業の進め方・学習方法・課題				16	季節の言葉・時候の挨拶①	四季それぞれにふさわしい言葉の理解
① 語彙や言い回しについての理解と問題演習(プリント使用) ② 学習した語彙・言い回しを使った例文作り ③ 学習した語彙・言い回しを使った会話練習				17	季節の言葉・時候の挨拶②	四季それぞれにふさわしい言葉の理解
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
①定期試験 50% ②授業への積極的参加(出席率) 30% ③提出物 10% ④学習意欲 10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22		
				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
				実務経験教員の経歴		
				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	はじめに	国際線について 概要 手続き他
学科名	国際観光大学併修科	必須・選択	必須	2	1年次の復習	予備知識の確認
学年	2年	担当教員	大野 孝予	3	1年次の復習	予備知識の確認
科目名	INFINI 国際線初級・中級	時間数	74単位時間	4	1年次の復習	予備知識の確認
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	予約システムと基本操作	基本操作への理解
使用テキスト名	INFINI Reservation and Fare Pricing			6	予約システムと基本操作	基本操作への理解
補助教材				7	検索	各種コードの検索
				8	スケジュール照会	週間・特定便のスケジュール照会
科目概要と科目到達目標				9	フライト予約 空席照会からの予約	予約発券業務への操作の理解 実技演習
<p>○科目概要:ANAグループ国際線の予約・発券システムです。ANAグループの飛行機の予約・発券についてお役様がインターネット以外でお申込みをされる際は、旅行会社、予約センター他で受け付けておりその際スタッフが使用する共通の予約発券システムを使用。</p> <p>○科目到達目標:1年間で国際線取得に向け授業を進める。また、実技対応として、考えて対応できるスキルを身に付ける。</p>				10	フライト予約 便名指定による予約	予約発券業務への操作の理解 実技演習
				11	旅程の取り消し・挿入・移動	予約発券業務への操作の理解 実技演習
				12	旅客データ入力	予約発券業務への操作の理解 実技演習
				13	PNRの完了 中断	予約発券業務への操作の理解 実技演習
				14	PNRの抽出	予約発券業務への操作の理解 実技演習
				15	事前座席指定	予約発券業務への操作の理解 実技演習
				16	SSR 特別に配慮のあるお客様情報入力	旅客情報入力
授業の進め方・学習方法・課題				17	小テスト	まとめ
<p>○教科書を主体に、基礎知識を身に付けながら、実際PCを活用し習得する方法である。</p> <p>講師より予め、問題を作成されたものを練習問題とし学生がPCを使って予約・発券に取り組む学習方法。</p> <p>課題に関して、自宅ではできない為授業時間内にて、説明→PC操作→解答→PC操作など繰り返すことで身に付けていく。</p>				18	SSRの概要	旅客情報入力
				19	SSR 機内食 小児 幼児情報	特別運賃料金への理解
				20	SSR 旅客データ	運賃計算への理解
				21	PNRの分割・PNRのコピー	航空券の有効期限・払戻への知識
評価方法・成績評価基準				22	PNRの分割・PNRのコピー	発券ファイルとは・理解と応用
<p>①定期試験 50% ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%</p> <p>【成績評価基準】</p> <p>A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた</p> <p>B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している</p> <p>C=良(79-70点) 到達目標を達成している</p> <p>D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している</p> <p>E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない</p>				23	PNRのヒストリー	発券ファイルとは・理解と応用
				24	PNRのヒストリー	発券ファイルとは・理解と応用
				25	キュー処理概要	問い合わせ概要
				26	キュー処理	問い合わせ概要
				27	キュー処理フォローアップ	問い合わせ概要
				28	キューBOXの編集	問い合わせ概要
				29	まとめ	まとめ
				30	まとめ	まとめ
				31	ロールプレイ	総まとめ 実技
				32	ロールプレイ	総まとめ 実技
実務経験教員の経歴				33	検定対策	検定試験 事前学習
旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験 22年間				34	検定対策	検定試験 事前学習

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	はじめに 2年次メイクの授業進度について	
学 科 名	国際観光大学併修科	必須・選択	必須	2	効果発表 ・自分のメイク	1年次の振り返りと現状把握
学 年	2年	担当教員	加藤広美	3	効果発表 ・自分のメイク	1年次の振り返りと現状把握
科 目 名	Image Making II	時間数	68単位時間	4	効果発表 ・改善点	1年次の振り返りと現状把握
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	効果発表 ・改善点	1年次の振り返りと現状把握
使用テキスト名				6	メイク改善点①	1年次の振り返りと現状把握
補助教材	エアステージ			7	メイク改善点②	1年次の振り返りと現状把握
				8	メイク改善点③	1年次の振り返りと現状把握
科目概要と科目到達目標				9	IMAGE MAKING ・髪型	印象の良い髪形についての指導
科目概要:髪型を含め、受験企業に合わせたメイクの仕方とPTOに合わせたメイクをアレンジできるように技術を身に付ける				10	IMAGE MAKING ・髪型	印象の良い髪形についての指導
科目到達目標:メイク、ヘアアレンジ、身だしなみ、マナーを学び、オフィスで好印象を与えるトータルコーディネートを身に付ける				11	IMAGE MAKING ・髪型	印象の良い髪形についての指導
				12	IMAGE MAKING ・髪型	印象の良い髪形についての指導
				13	IMAGE MAKING ・髪型	印象の良い髪形についての指導
				14	IMAGE MAKING ・髪型	印象の良い髪形についての指導
授業の進め方・学習方法・課題				15	IMAG MAKING ・TOTAL MAKING	印象の良い身だしなみについて
講師のメイク方法をサンプルとして紹介。講師のガイダンスを参考に自分でメイクを施す				16	IMAG MAKING ・TOTAL MAKING	印象の良い身だしなみについて
講師による改善指導				17	IMAG MAKING ・TOTAL MAKING	印象の良い身だしなみについて
				18	効果発表 ・自分のメイク	セルフメイク
				19	効果発表 ・自分のメイク	セルフメイク
				20	効果発表 ・自分のメイク	セルフメイク
評価方法・成績評価基準				21	効果発表 ・自分のメイク	セルフメイク
①定期試験 10% ②授業への積極的参加(出席率)60% ③提出物 10% ④学習意欲 20%				22	効果発表 ・自分のメイク	セルフメイク
【成績評価基準】				23	効果発表 ・改善点	講師による改善点の指導
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	効果発表 ・改善点	講師による改善点の指導
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	効果発表 ・改善点	講師による改善点の指導
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	ヘアメイク集中講義①	ヘアアレンジ
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	ヘアメイク集中講義②	ヘアアレンジ
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	ヘアメイク集中講義③	ヘアアレンジ
				29	IMAGE MAKING ・トータル髪型	トータルで印象の良い身だしなみについて
				30	IMAGE MAKING ・トータル髪型	トータルで印象の良い身だしなみについて
				31	IMAGE MAKING ・トータル髪型	トータルで印象の良い身だしなみについて
実務経験教員の経歴				32	IMAGE MAKING ・トータル髪型	トータルで印象の良い身だしなみについて
様々な企業への研修などを実施しており、プロのメイクアップアーティストである。ビジネスマナー用のメイクから、各航空会社へのメイクやヘアアップも担当 実務経験36年				33	トータルコーディネート	受験企業に合わせたメイクと身だしなみ
				34	トータルコーディネート	受験企業に合わせたメイクと身だしなみ

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科	必須・選択	必須	1	国内地理 北陸地方① 自然・観光地・その他の情報	
学年	2年	担当教員	北村 裕美	2	国内地理 北陸地方②	都道府県の観光地・資源の知識&習得
科目名	地理Information II	時間数	34単位時間	3	確認小テスト	ウィークポイントの把握と確認
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	国内地理 関東地方① 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識&習得
使用テキスト名	旅にでたくなる日本地図			5	国内地理 関東地方② 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識&習得
補助教材	旅行業実務シリーズ 国内観光地理			6	国内地理 関東地方③ 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識&習得
				7	国内地理 関東地方④ 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識&習得
				8	確認小テスト	ウィークポイントの把握と確認
科目概要と科目到達目標				9	国内地理 中部地方① 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識&習得
就職先のひとつとして、空港内にあるインフォメーションカウンターに対応できる案内知識を学ぶ。 世界遺産検定や旅行千検定(海外)の取得も目指す				10	国内地理 中部地方② 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識&習得
				11	国内地理 中部地方③ 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識&習得
				12	確認小テスト	ウィークポイントの把握と確認
				13	国内地理 関西地方① 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識&習得
				14	国内地理 関西地方② 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識&習得
授業の進め方・学習方法・課題				15	確認小テスト	ウィークポイントの把握と確認
○引き続き1年次からの、都道府県の観光地を学ぶ それぞれの分野が終了した段階で小テストなどを重ねて知識をつけていく。 地図帳には、学んだ景観や観光地などをチェックして場所の確認をする。				16	国内地理 山陰地方① 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識&習得
				17	前期 まとめ	ウィークポイントの把握と確認
				18	前期振り返り①	
				19	前期振り返り②	
				20	国内地理 山陰地方② 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識&習得
評価方法・成績評価基準				21	確認小テスト	ウィークポイントの把握と確認
①定期試験 50% ②授業への積極的参加(出席率) 20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				22	国内地理 四国地方① 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識&習得
				23	確認小テスト	ウィークポイントの把握と確認
				24	国内地理 九州・沖縄地方① 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識&習得
				25	国内地理 九州・沖縄地方② 自然・観光地・その他の情報	都道府県の観光地・資源の知識&習得
				26	確認小テスト	ウィークポイントの把握と確認
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				27	旅行プランニング①	新しい視点から見る日本の観光地
				28	旅行プランニング②	新しい視点から見る日本の観光地
				29	旅行プランニング③	新しい視点から見る日本の観光地
				30	旅行プランニング&プレゼンテーション①	各自観光地のツアープランの提案
				31	旅行プランニング&プレゼンテーション②	各自観光地のツアープランの提案
実務経験教員の経歴				32	旅行プランニング&プレゼンテーション③	各自観光地のツアープランの提案
				33	総まとめ①	総括とまとめ
				34	総まとめ②	総括とまとめ

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	1年次からの振り返り	自分自身のセルフプレゼンテーション
学 科 名	国際観光大学併修科	必須・選択	必須	2	現在の就職活動報告①	それぞれの就職報告
学 年	2年	担当教員	玉利 樹美枝	3	航空会社企業研究①	企業の求める人材を確認
科 目 名	面接対応Ⅱ & 企業研究	時間数	17単位時間	4	航空会社企業研究②	企業の求める人材を確認
開講期間	前期	授業形態	オンライン授業	5	人となりからの面接質問	面接官は何を見ているのか？
使用テキスト名				6	人となりからの面接質問	面接官は何を見ているのか？
補助教材	パワーポイント			7	お互いを面接する	客観的に自分を見る
				8	JAL・ANAの違い	
科目概要と科目到達目標				9	面接模擬テスト	集団面接
科目概要：希望する業種などを把握し、それぞれの企業に向けた面接指導と企業研究				10	面接模擬テスト	集団面接
科目到達目標：就職内定者の排出				11	グループディスカッション	・グループディスカッションとは？
				12	グループディスカッション	・グループディスカッションとは？
				13	グループディスカッション と ワークショップ	・グループディスカッションとは？
				14	グループディスカッション と ワークショップ	ワークショップから受験を見え方
授業の進め方・学習方法・課題				15	前期 面接模擬テスト	集団面接
航空業界の試験内容と進め方を紹介。また、ESが通過するための極意など航空業界に必要なポイントなどを踏まえ伝授する。課題は自己分析などプリントなどを配布し記入しながら、材料を貯めていく。				16	前期 面接模擬テスト	集団面接
				17	まとめ	まとめ
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
①定期試験 50% ②授業への積極的参加(出席率) 20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				22		
【成績評価基準】				23		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25		
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28		
				29		
				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
客室乗務員として、国内線・国際線乗務し、様々な国へフライト実績あり。また専門学校講師としての経験あり。				33		
				34		

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	グランドスタッフの資質とは 1年次復習	どんな人柄が求められるか
学科名	国際観光大学併修科	必須・選択	必須	2	グランドスタッフの仕事内容	仕事内容を理解する
学年	2年	担当教員	北村裕美	3	GSの仕事の役割 1日の仕事内容	GSの仕事の重要性 1日のスケジュールから体力勝負の仕事である
科目名	グランドスタッフ実習Ⅱ	時間数	17単位時間	4	チェックイン前にやらなければならないこと	事前準備
開講期間	後期	授業形態	対面授業	5	飛行機に関する基礎知識	専門知識の把握
使用テキスト名				6	飛行機が飛ぶ原理	専門知識の把握
補助教材	パワーポイント			7	GSに必要な専門知識	専門知識の把握
				8	BAG受託について	様々な手荷物についての対応
科目概要と科目到達目標				9	ロールプレイ	実務を学ぶ
科目概要: 1年次の基礎知識を基礎に、グランドスタッフが実際に働いている内容の対応を学ぶ				10	checkイン	座席指定について
科目到達目標: 仕事内容を理解する				11	GATE業務	仕事内容を理解する
				12	特別旅客の対応	車椅子PAX
				13	特別旅客の対応	車椅子PAX
				14	特別旅客の対応	BLND
授業の進め方・学習方法・課題				15	ロールプレイ	ロールプレイ
シラバスに沿った内容で、主にロールプレイを中心に実施。ビデオ撮影などをしながら、客観的に見ることでどのような対応がいいのかチェックする。また、実際の現場での対応力も必要となるので専門的な知識と実務を身に付けながら習得する。				16	ロールプレイ	ロールプレイ
				17	まとめ	
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
①定期試験 50% ②授業への積極的参加(出席率) 20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				22		
				23		
				24		
【成績評価基準】				25		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27		
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				28		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科	必須・選択	必須	1	自己紹介、客室乗務員について	CAの役割を知る
学年	2年	担当教員	富樫先生	2	客室乗務員の仕事内容	仕事内容の把握
科目名	客室乗務員実習	時間数	17単位時間	3	保安知識①	保安要員としての役割を知る
開講期間	後期	授業形態	対面授業	4	保安知識②	保安要員としての役割を知る
使用テキスト名				5	客室業務員のリアル	現役のスケジュールとステイ先での過ごし方など
補助教材	パワーポイント			6	お土産、免税について	機内販売を含む免税についての知識を得る
				7	LCCについて	LCCの特徴を知る
				8	機内サービスの流れと、食事などについて	サービスについての学習
科目概要と科目到達目標				9	JAL現役CAとのQ&A	実際のCAとZOOMで対面し、士気を高める
客室乗務員になる為の資質から始まり、仕事内容(保安要員とサービス要員)を把握する。 また、それぞれの仕事内容を項目に沿って学ぶことで専門的知識を学び身に付けることができる。 到達目標としては、翌年の就職活動に少しでも活用できるよう自分自身が働いていることをイメージし何が客室として合っているのか把握する。				10	ハワイ便	色々なサービスの工夫があることを学ぶ
				11	コロナ禍のサービスなどについて	コロナ禍での取り組みなど
				12	外資系CAについて	海外のCAの特徴、生活などについて
				13	機内での本当の話集	芸能人、有名人、スポーツ選手など
				14	グループディスカッション と ワークショップ	ワークショップから受験を見え方
授業の進め方・学習方法・課題				15	前期 CA面接模擬テスト	集団面接
項目に沿って進めていく。学習方法としては、それぞれ知識を学びそれを実技で落としいくものとする。				16	前期 CA面接模擬テスト	集団面接
				17	まとめ	まとめ
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
①定期試験 50% ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 20% ④学習意欲 10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22		
				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	手話検定5級の復習	振り返り
学科名	国際観光大学併修科	必須・選択	必須	2	手話検定試験4級取得への道	手話4級単語を習得
学年	2年	担当教員	北村裕美	3	手話検定試験4級取得への道	手話4級単語を習得
科目名	手話Ⅱ	時間数	68単位時間	4	手話検定試験4級取得への道	手話4級単語を習得
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	手話検定試験4級取得への道	手話4級単語を習得
使用テキスト名	ゼロからわかる手話入門			6	手話検定試験4級取得への道	手話4級単語を習得
補助教材	パワーポイント			7	手話検定試験4級取得への道	手話4級単語&長文を習得
				8	手話検定試験4級取得への道	手話4級単語&長文を習得
科目概要と科目到達目標				9	手話検定試験4級取得への道	手話4級単語&長文を習得
手話検定試験3級取得に向けた授業展開				10	手話検定試験4級取得への道	手話4級単語&長文を習得
⇒基本的な手話表現力ができる あいさつ、自己紹介、趣味について相手に尋ねたり答えたりすることができる。				11	手話検定試験4級取得への道	過去問題①
⇒更に、お店や窓口で簡単な接客の会話や日付や時刻、金額など数字の入った表現ができる。				12	手話検定試験4級取得への道	過去問題②
				13	手話検定試験4級 検定日	検定日
				14	手話を使いながら、ロールプレイ 空港	チェックイン・手荷物
授業の進め方・学習方法・課題				15	手話を使いながら、ロールプレイ 空港	GATE対応
手話検定3級取得に向けて、検定対策の単語学習・ロールプレイの実施。手話も言語のひとつということから楽しく手話を学んでいく。				16	手話を使いながら、ロールプレイ ホテル	フロント 案内
				17	手話を使いながら、ロールプレイ ホテル	お客様対応 レストラン
				18	手話検定4級の復習	振り返り
				19	手話検定試験3級取得への道	手話3級単語を習得
				20	手話検定試験3級取得への道	手話3級単語を習得
評価方法・成績評価基準				21	手話検定試験3級取得への道	手話3級単語を習得
①定期試験 50% ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				22	手話検定試験3級取得への道	手話3級単語を習得
【成績評価基準】				23	手話検定試験3級取得への道	手話4級単語&長文を習得
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	手話検定試験3級取得への道	手話4級単語&長文を習得
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	手話検定試験3級取得への道	手話4級単語&長文を習得
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	手話検定試験3級取得への道	手話4級単語&長文を習得
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	手話検定試験3級取得への道	手話5級単語&長文を習得
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	手話検定試験3級取得への道	手話6級単語&長文を習得
				29	手話検定試験3級取得への道	手話7級単語&長文を習得
				30	手話で発表してみよう	発表
				31	手話で発表してみよう	発表
実務経験教員の経歴				32	手話で発表してみよう	発表
				33	検定試験	
				34	まとめ	

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
学 科 名	国際観光大学併修科	必須・選択	必須	1	序章 プロトコール概要	マナー エチケット 礼儀 作法違い
学 年	2年	担当教員	北村 裕美	2	第1章 マナーの歴史と意味	日本の礼儀 西洋作法の成り立ち
科 目 名	マナープロトコール	時間数	17単位時間	3	第2章 国際人としてのプロトコール	プロトコールの原則
開講期間	通年	授業形態	オンライン授業	4	第5章 食事のマナー	食事の作法 和食 西洋など
使用テキスト名	マナープロトコール			5	第5章 食事のマナー	食事の作法 和食 西洋など
補助教材	パワーポイント			6	第7章 「冠」のしきたり	冠婚葬祭とは
				7	第7章 「冠」のしきたり	冠婚葬祭とは
科目概要と科目到達目標				8	第8章 「婚」のしきたり	結婚の変遷
科目概要:日本のマナーを習得した上で、国際的マナーの習得				9	第8章 「婚」のしきたり	結婚の変遷
科目到達目標:マナープロトコール検定3級取得を目指す				10	第9章 「葬」のしきたり	葬のしきたり
				11	第9章 「葬」のしきたり	葬のしきたり
				12	第10章 「祭り」のしきたり	祭りのしきたり
				13	第10章 「祭り」のしきたり	祭りのしきたり
				14	過去問題	
授業の進め方・学習方法・課題				15	過去問題	
1年次で秘書検定のマナーを学んだことを基本に、世界的なマナーを習得する。				16	過去問題	
各章で学んだことを小テストなどで確認作業の実施				17	検定試験 3級受験	
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物 20% ④学習意欲 20%				22		
【成績評価基準】				23		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25		
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28		
				29		
				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
航空会社にてグランドスタッフの国内線、国際線の実務経験あり、航空業界から得たマナーなど、社会人にて必要なビジネスマナー対応など関わる実務経験7年。マナープロトコール協会より認定講師				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	韓国語について	文字、基本的な発音の習得
学科名	国際観光大学併修科	必須・選択	選択必修	2	基本の母音	母音の特徴を学ぶ
学年	2年	担当教員	柳・宇都宮	3	基本の子音	子音の特徴を学ぶ
科目名	韓国語Ⅱ	時間数	68	4	合成母音	母音の種類について学ぶ
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	パッチム	位置や場所を話すことができる
使用テキスト名	基礎から学ぶ韓国語講座 初級 改訂版			6	文字の復習	文字についての総まとめ
補助教材				7	基本的なフレーズと挨拶	挨拶の種類とフレーズを使う
				8	第1課 私は浅井ゆかりです	自己紹介ができる
科目概要と科目到達目標				9	第2課 出身はソウルですか	出身地について学ぶ
科目概要:韓国語の基礎を学び挨拶などのコミュニケーションがとれるようにする				10	第3課 図書館ではありません	時間を話す
科目到達目標:ハングル能力検定試験 5級取得				11	第4課 時間がありますか	日にちを話す
				12	第5課 何をしますか	やりたいことを伝える
				13	第6課 貿易会社で働いています	仕事について話す
				14	第7課 服を買いいます	予定について話す
授業の進め方・学習方法・課題				15	前期 復習①	テキストの復習
テキストに沿って問題を進めていき、ワークブックの問題を解く				16	前期 復習②	テキストの復習
				17	前期試験	
				18	第8課 スーパーでよく買います①	買い物に必要なことを話す
				19	第8課 スーパーでよく買います②	豆体が作れる
				20	第9課 1万ウォンです①	お金について学ぶ
				21	第9課 1万ウォンです②	お釣りについて学ぶ
評価方法・成績評価基準				22	ハングル能力試験5級検定対策 ①	模擬問題を解く
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				23	ハングル能力試験5級検定対策 ②	模擬問題を解く
				24	ハングル能力試験5級検定対策 ③	模擬問題を解く
				25	ハングル能力試験5級検定対策 ④	模擬問題を解く
【成績評価基準】				26	第10課 今、何時ですか①	時間について話す
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				27	第10課 今、何時ですか②	時間について話す
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				28	第11課 日本語を話されますか①	第3者に紹介する
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				29	第11課 日本語を話されますか②	よりフォーマルな場で自己紹介する
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				30	第12課 バスは行きません①	乗り物について話す
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				31	第12課 バスは行きません②	乗り物について話す
実務経験教員の経歴				32	後期 復習①	テキストの復習
				33	後期 復習②	テキストの復習
				34	後期試験	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科	必須・選択	選択必修	1	第9課 一共多少钱？	選択疑問文の使い方を覚える
学年	2年	担当教員	富田朋美	2	第9課 一共多少钱？	金額の言い方を覚える
科目名	中国語Ⅱ	時間数	68単位時間	3	第9課 一共多少钱？	動詞の重ね型を覚える
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	第10課 大学里有书店	存在を表す「在」と「有」の使い分け
使用テキスト名	新・ゼロから学ぶ中国語 検定試験合格への道のり			5	第10課 大学里有书店	「的」の用法を覚える
補助教材				6	第10課 大学里有书店	連動文を覚える
科目概要と科目到達目標 科目概要:文法の確認を中心にしながら基礎を学び、挨拶や自己紹介、買い物や旅行等、 中国で通じる中国語の習得を目指す 科目到達目標:中国語検定4級				7	中国語検定準4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
				8	中国語検定準4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
				9	中国語検定準4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
				10	中国語検定準4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
				11	第11課 我去过中国	助動詞の使い方を覚える
				12	第11課 我去过中国	経験を表す言葉を覚える
				13	第11課 我去过中国	「(是)～的」の文を覚える
				14	第12課 我家在做作业呢	現在進行形を覚える
				15	第12課 我家在做作业呢	時間量を覚える
				16	第12課 我家在做作业呢	比較の表現を覚える
				17	第13課 我家离大学不太远	前置詞の種類を覚える
				18	第13課 我家离大学不太远	前置詞の使い分けを覚える
				19	第13課 我家离大学不太远	「怎么」と「怎么样」の使い分けを知る
				授業の進め方・学習方法・課題 文法を確認しながら、日常生活で通用する中国語を学ぶ		
21	第14課 我得打工	二重目的語を持つ動詞を覚える				
22	第14課 我得打工	二重目的語を持つ動詞の文を作る				
23	第15課 我们快放假了	未来形を覚える				
24	第15課 我们快放假了	未来形を入れた文を作る				
25	第15課 我们快放假了	程度を表す助詞「得」の文を覚える				
26	中国語検定4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる				
27	中国語検定4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる				
28	中国語検定4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる				
29	中国語検定4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる				
評価方法・成績評価基準 ①定期試験・検定合格 40% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物 20% ④学習意欲 10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30	一問一答①	質問を聞いて、即答できるようになる
				31	一問一答②	質問を聞いて、即答できるようになる
				32	一問一答③	質問を聞いて、即答できるようになる
				33	期末テスト	
実務経験教員の経歴				34	振り返り	

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
学 科 名 国際観光大学併修科 学 年 2年 科 目 名 English for Hospitality 開講期間 通年 使用テキスト名 Hospitality English 補助教材	必須・選択 必須 担当教員 NIEL・MAYA 時間数 34単位時間 授業形態 対面授業	1	UNIT01:Ticketing for a Domestic Flight.①	空港内での英語対応を学習する		
		2	UNIT02:Ticketing for a Domestic Flight.②			
		3	UNIT02:Domestic Flight Check-in①	チェックイン時の英語対応を学習する		
		4	UNIT02:Domestic Flight Check-in②			
		5	Review: Domestic Flight Dialogue			
		6	UNIT03:International Flight Check-in ①	ラウンジと乗換時の英語対応を学習する		
		7	UNIT03:International Flight Check-in ②			
8	Review: International Flight Check-in Dialogue					
科目概要と科目到達目標				9	UNIT04: Airport Lounge Service①	ラウンジと乗換時の英語対応を学習する
実際のエアライン会社が研修で使用しているテキストを用い、英語での様々なシチュエーションに対応するための実践力をリスニング・スピーキング・ロールプレイを通して会得する。				10	UNIT04: Airport Lounge Service②	
				11	UNIT05: Assisting Transit Passengers①	荷物引取時の英語対応を学習する
				12	UNIT05: Assisting Transit Passengers②	
授業の進め方・学習方法・課題 教科書を用いて単語、リスニング、スピーキング、ロールプレイを行い、インプットとアウトプット力を身に着ける				13	UNIT06: Baggage Issues①	搭乗時の英語対応を学習する
				14	UNIT06: Baggage Issues②	
				15	UNIT07: Welcome Aboard①	復習:お客様対応のロールプレイを行う
				16	UNIT07: Welcome Aboard②	
評価方法・成績評価基準 ①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				17	Review: Dealing with customers	
				18	UNIT08: Before Takeoff①	機内サービスの英語対応を学習し、ロールプレイを実践する
19	UNIT08: Before Takeoff②					
20	UNIT09 In-flight Service①					
21	UNIT09 In-flight Service②					
22	Roleplay: In-flight service					
23	UNIT10: In-flight Sales①					
				24	UNIT10: In-flight Sales②	離陸時の英語対応を学習する
				25	Roleplay: In-flight sales	
				26	UNIT11:Passenger Care①	離陸時の英語対応を学習する
				27	UNIT11:Passenger Care②	
				28	Roleplay: Passenger Care	離陸時の英語対応を学習する
				29	UNIT12: Before Landing①	
				30	UNIT12: Before Landing②	離陸時の英語対応を学習する
				31	Roleplay:Before Landing	
実務経験教員の経歴				32	Review: Roleplay from Airport Lounge Service	ロールプレイの復習をする
				33	Review: Roleplay from Welcome Abroad	
				34	Evaluation: Roleplay	ロールプレイを行い、実技にて評価を付ける

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Unit 1. ネイティブ発音への道	ネイティブ発音の理解・実践・習得
学 科 名	国際観光大学併修科	必須・選択	必須	2	Unit 2. 英語のアクセントとリズム	ネイティブ発音の理解・実践・習得
学 年	2年	担当教員	阿部塊地	3	Unit 3. ナチュラルな発音を目指して	ネイティブ発音の理解・実践・習得
科 目 名	Pronunciation II	時間数	17単位時間	4	Unit 4. 母音の発音	ネイティブ発音の理解・実践・習得
開講期間	前期	授業形態	対面授業	5	Unit 5. Tの発音	ネイティブ発音の理解・実践・習得
使用テキスト名	Sounds Like American			6	Unit 6. Lの発音	ネイティブ発音の理解・実践・習得
補助教材				7	Unit 7. Rの発音	ネイティブ発音の理解・実践・習得
				8	Unit 8. 長い語句のアクセント	ネイティブ発音の理解・実践・習得
科目概要と科目到達目標				9	Unit 9. 応用練習	ネイティブ発音の理解・実践・習得
科目概要: アメリカ英語の発音、ストレス、イントネーション、リズムを学び、ネイティブスピーカーとのコミュニケーションで通用する英語力を身に付ける。				10	Unit 10. V, TH, S/Zの発音	ネイティブ発音の理解・実践・習得
科目到達目標:				11	Unit 11. M, N, NGの発音	ネイティブ発音の理解・実践・習得
				12	Unit 12. H, N, NGの発音	ネイティブ発音の理解・実践・習得
				13	Unit 13. 長い分をリズムカルに読む	ネイティブ発音の理解・実践・習得
				14	Unit 14. 態度や感情を表すイントネーション	ネイティブ発音の理解・実践・習得
授業の進め方・学習方法・課題				15	Review	ネイティブ発音の理解・実践・習得
CDに合わせて、音の上げ下げ・区切る位置・長さや強弱など、英語の音の特徴を再現できるように練習する				16	Assessment	評価
○対面授業と遠隔授業の併用実施				17	発表	まとめ
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
①定期テストの点数30% ②発音の正確さ30%、③出席率20%、④授業態度20%				22		
【成績評価基準】				23		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25		
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28		
				29		
				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科	必須・選択	必須	1	貿易のしくみを知る	貿易の基本を知る
学年	2年	担当教員	坂上啓貴	2	貿易実務とは	貿易の基本を知る
科目名	貿易実務Ⅱ	時間数	17単位時間	3	輸出者(輸出企業)	貿易の基本を知る
開講期間	後期	授業形態	対面授業	4	輸入車(輸入企業)	貿易の基本を知る
使用テキスト名	マンガでわかる貿易実務のきほん			5	船会社・航空会社・混載業者	貿易の基本を知る
補助教材				6	ドレー会社・検量機関	貿易の基本を知る
				7	貿易条件を決める	貿易の基本を知る
				8	貿易取引にかかわる法律	貿易の基本を知る
科目概要と科目到達目標				9	輸送方法の選定	貿易の基本を知る
輸出・輸入について学び、就職後貿易実務を実践的に使用できるようになる。				10	航空輸送の基本と種類	貿易の基本を知る
輸出入の際に留意すべき点や航空業界で実践的に使用できる知識をつける。				11	航空運賃のしくみ	貿易の基本を知る
最終的にINVOICE、PACKING LISTが作成できるようになる。				12	Invoice(送り状)について	実践的知識の習得
				13	サンプルInvoice作成	実践的知識の習得
				14	Packing List作成	実践的知識の習得
授業の進め方・学習方法・課題				15	サンプルPacking List作成	実践的知識の習得
テキストに従って進めるととも、PCを用いて書類を作成していく。				16	通関手続きの基本	実践的知識の習得
				17	Air Waybillの流れ	実践的知識の習得
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22		
				23		
				24		
【成績評価基準】				25		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27		
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				28		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学 科 名	国際観光大学併修科	必須・選択	必須	1	オリエンテーション①	授業導入の狙いと年間計画等について
学 年	2年	担当教員	矢後 達夫	2	観光の重要性	マーケティングの重要性と概念を理解する
科 目 名	マーケティング	時間数	34単位時間	3	観光マーケティングの概念	マーケティングの重要性と概念を理解する
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	マーケティング発想(課題有)	マーケティングの重要性と概念を理解する
使用テキスト名	JTB総研「観光のマーケティング・マネジメント」			5	BTMIについて	マーケティングの重要性と概念を理解する
補助教材	パワーポイントスライド			6	顧客ニーズについて	マーケティングの重要性と概念を理解する
科目概要と科目到達目標 観光産業の人材育成のため、観光マーケティング理論・知識を習得する。 観光以外の職業に就いたとしてもマーケティングの様々な課題を解決出来る知識を身に付ける。				7	リッツカールトンの感動サービス	マーケティングの重要性と概念を理解する
				8	顧客価値とメカニズム	マーケティングの重要性と概念を理解する
授業の進め方・学習方法・課題 テキストを中心に「観光マーケティング」の仕組みや考え方を学ぶ。 通期の後半で、外部講師による「マーケティング」の実社会での取り組み等の講義を予定。 前期テスト(レポート)、後期テスト(選択・記述式)				9	サービスの定義と特性	マーケティングの重要性と概念を理解する
				10	個人マーケット	観光マーケットと購買行動を学ぶ
				11	団体マーケット	観光マーケットと購買行動を学ぶ
				12	購買プロセス	観光マーケットと購買行動を学ぶ
				13	価格弾力性	観光マーケットと購買行動を学ぶ
				14	成功の鍵を見つける手段①	環境分析について手法を学ぶ
				15	成功の鍵を見つける手段②	環境分析について手法を学ぶ
評価方法・成績評価基準 ①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				16	JR東日本のエキナカビジネス	環境分析について手法を学ぶ
				17	・外部講師(講演予定)16関連・レポート	環境分析について手法を学ぶ
				18	市場の細分化とターゲット設定	競争分析について手法を学ぶ
				19	ポジショニングについて(スターフライヤー)	競争分析について手法を学ぶ
				20	マーケティング基本戦略	競争分析について手法を学ぶ
				21	多様化するニーズへの対応	商品のマネジメントについて理解する
				22	JALパック誕生	商品のマネジメントについて理解する
				23	ライフサイクル	価格マネジメントについて理解する
				24	航空郵送から見た価格設定①	価格マネジメントについて理解する
				25	航空郵送から見た価格設定②	価格マネジメントについて理解する
実務経験教員の経歴 旅行会社にて、カウンターを含む旅行渉外営業、旅行企画手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験 10年間				26	企業戦略①	価格マネジメントについて理解する
				27	企業戦略②	価格マネジメントについて理解する
				28	海外旅行商材	流通チャネルのマネジメントを知る
				29	流通チャネルについて	流通チャネルのマネジメントを知る
				30	消費者へのメッセージ	流通チャネルのマネジメントを知る
				31	メディア戦略	流通チャネルのマネジメントを知る
				32	インバウンドマネジメント(外部講師予定)	プロモーションマネジメントを理解する
				33	ホスピタリティーマネジメント	プロモーションマネジメントを理解する
		34	年度末テスト	習熟度確認		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学 科 名	国際観光大学併修科	必須・選択	必須	1	第1章 文化	浮世絵、狂言、きもの、書道、 いけばなについて
学 年	2年	担当教員	小林先生	2	第1章 文化	
科 目 名	Japanese Cultures	時間数	34単位時間	3	第1章 文化	
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	第1章 文化	
使用テキスト名				5	第1章 文化	剣道、神社、祭り
補助教材				6	第1章 文化	
				7	第1章 文化	
科目概要と科目到達目標				8	第2章 食べ物・飲み物	ゆかた、こたつ、正月、葬式、見合い
科目概要: 日本文化研究で学んだ知識を参考に、日本文化を英語でどのように紹介するかを学びながら、プレゼンテーションスキルを身に付ける。				9	第2章 食べ物・飲み物	
科目到達目標: 実際に外国人の前で日本文化を説明し、質問に対応する				10	第2章 食べ物・飲み物	
				11	第2章 食べ物・飲み物	
				12	第2章 食べ物・飲み物	
授業の進め方・学習方法・課題				13	第2章 食べ物・飲み物	家紋、盆栽、風呂敷、扇子
日本文化研究で調べた情報を英語に翻訳				14	第2章 食べ物・飲み物	
想定される質問を含めて、プレゼンテーションスキルを身に付ける				15	第2章 食べ物・飲み物	
				16	Assessment	忍者、皇室、切腹、将軍、温泉、花火
				17	Assessment	
				18	第3章 歴史・観光	
				19	第3章 歴史・観光	
				20	第3章 歴史・観光	
評価方法・成績評価基準				21	第3章 歴史・観光	地下鉄、駅弁、侍、城、東京、京都
①定期試験 50% ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				22	第3章 歴史・観光	
【成績評価基準】				23	第3章 歴史・観光	
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	第3章 歴史・観光	
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	第4章 その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	年賀状、おもてなし、梅雨、建国記念日、 わびさび、マンガ
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	第4章 その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	第4章 その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	第4章 その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	
				29	第4章 その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	
実務経験教員の経歴				30	第4章 その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	自衛隊、カラオケ、駄菓子、塾
				31	第4章 その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	
				32	第4章 その他(年賀状、お辞儀、終身雇用)	
				33	Assessment	
				34	Assessment	

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	イントロダクション 異文化理解のすすめ	なぜ異文化理解が必要なのかを学ぶ
学 科 名	国際観光大学併修科	必須・選択	必須	2	異文化コミュニケーション①～文化とは何か～	文化とは何かを学ぶ
学 年	2年	担当教員	中林幸恵	3	異文化コミュニケーション②～自文化への気付き	自分を振り返る
科 目 名	異文化理解	時間数	17単位時間	4	異文化コミュニケーション③～異文化適応～	異文化について適応段階を学ぶ
開講期間	前期	授業形態	オンライン授業	5	異文化コミュニケーション④～発想の転換～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
使用テキスト名				6	異文化コミュニケーション⑤～発想の転換～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
補助教材	パワーポイント			7	文化・文明の衝突①～異文化に対する偏見～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
				8	文化・文明の衝突②～差別と異文化理解～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
科目概要と科目到達目標				9	文化・文明の衝突③～世界の価値観～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
異文化比較と理解を進め多様性社会への対応力を高める				10	文化・文明の対話①～文化背景の違い～日本編	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
				11	文化・文明の対話②～文化背景の違い～他国編	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
				12	文化・文明の対話③～異文化の受容～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
				13	文化・文明の対話④～非言語コミュニケーション～ケーススタディ	非言語の重要性を知り、理解を深める
				14	文化・文明の対話⑤～非言語コミュニケーションの種類～	非言語の重要性を知り、理解を深める
授業の進め方・学習方法・課題				15	文化・文明の対話⑥～多文化共生社会への参画～	多文化共生社会についてグループで話し合う
授業前半は教材に沿って「異文化」とは「コミュニケーションとは」を学ぶ				16	文化・文明の対話⑦～多文化共生社会への参画～発表	多文化共生社会についてグループで発表する
授業後半は異文化間で生じる問題についてグループワークで話し合い				17	期末試験	
問題解決を模索する。				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
①定期試験 50 % ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 10% ④学習意欲10%				22		
				23		
				24		
【成績評価基準】				25		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27		
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				28		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科	必須・選択	必須	1	SUCCESS P59～62企業訪問について①質問事	就職活動の心構え
学年	2年	担当教員	北村 裕美	2	SUCCESS P63 企業訪問のお礼状について	お礼状の書き方
科目名	就職実務Ⅱ	時間数	34単位時間	3	最新最強の一般常識 総合問題	一般常識問題対策
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	個人面接練習 実践	面接時のマナーの理解
使用テキスト名	勝つための就職ガイドSUCCESS 最新最強の一般常識 最新最強のSPI			5	SUCCESS P66 就職試験のマナー	面接時のマナーの理解
補助教材				6	SUCCESS P67 控室でのマナー	面接時のマナーの理解
				7	SUCCESS P68～69 椅子の座り方、お辞儀の仕	立ち居振舞について
				8	最新最強の一般常識 総合問題	一般常識問題対策
科目概要と科目到達目標				9	最新最強の一般常識 総合問題	一般常識問題対策
科目概要:就職活動に必要な自己分析、書類作成、面接指導を行う				10	SUCCESS P70 面接試験対策 ①面接試験の形	面接対策
科目到達目標:就職試験に向けて、履歴書の内容を自分の言葉で自分らしく伝えられ、希望先企業への内定が目標。				11	個人面接 ①受験者1に対して面接官1人②受験	面接対策
				12	個人面接練習 実践	面接時のマナーの理解
				13	個人面接練習 実践	面接時のマナーの理解
				14	個人面接練習 実践	面接時のマナーの理解
授業の進め方・学習方法・課題				15	SUCCESS P71 面接試験対策 ①集団面接につ	集団面接で大切なこと
就職試験の為の一般常識問題、SPI対策を中心に、模擬面接、グループディスカッションを行い、面接試験に備える。				16	SUCCESS P71 面接試験対策 ①グループディス	グループディスカッション
対面授業と遠隔授業の併用実施				17	集団面接練習 実践	面接練習のコツ
				18	集団面接練習 実践	面接練習のコツ
				19	グループディスカッション 実践	模擬グループディスカッション
				20	グループディスカッション 実践	模擬グループディスカッション
評価方法・成績評価基準				21	グループディスカッション 実践	模擬グループディスカッション
①一般常識テスト30%②書類作成の理解度10%③出席率50%④面接対策10%				22	SUCCESS P79圧迫面接の対処法	圧迫面接時の対処法とは
【成績評価基準】				23	スピーチの訓練	人前での1分間のスピーチのポイント
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	スピーチの実践演習	実践1分間のスピーチのポイント
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	適性検査について	業界によって違う検査の特徴
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	適性検査の種類と内容	業界によって違う検査の特徴
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	受験後の報告	入社承諾書、お礼状の書き方
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	最新最強の一般常識 非言語能力問題	SPI対策問題
				29	最新最強の一般常識 非言語能力問題	SPI対策問題
				30	最新最強の一般常識 非言語能力問題	SPI対策問題
				31	最新最強の一般常識 言語能力問題	SPI対策問題
実務経験教員の経歴				32	最新最強の一般常識 言語能力問題	SPI対策問題
				33	最新最強の一般常識 言語能力問題	SPI対策問題
				34	最新最強の一般常識 言語能力問題	SPI対策問題

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	オリエンテーション	授業の到達目標について理解する
学 科 名	国際観光大学併修科	必須・選択	選択必須	2	地域にあるSDGs問題①	自分の身の回りにあるSDGsの問題を考える
学 年	2年	担当教員	阿部/北村/坂上/矢後	3	地域にあるSDGs問題②	積極的に取り組んでいる地域企業やグループを調査
科 目 名	国際理解Ⅱ	時間数	68単位時間	4	地域にあるSDGs問題③	参加可能なイベントを調査
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	役割分担	役割分担を行い効率的な活動につなげる
使用テキスト名				6	地域の問題を解決するための行動とは①	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
補助教材				7	地域の問題を解決するための行動とは②	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
				8	地域の問題を解決するための行動とは③	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
科目概要と科目到達目標				9	イベント企画案や広報案の提示①	企業や自治体への働き掛け
SDGsの「未来を変える目標」を理解し、実現するためにはどのような行動をすべきか考える。				10	イベント企画案や広報案の提示②	企業や自治体への働き掛け
ゴール11「住み続けられるまちづくりを」を全校の共通課題テーマに設定し、				11	活動①	1回目 SDGs問題解決のための活動
「社会」「経済」「環境」の3要素を調和させた問題解決策を提案する。				12	活動②	1回目 SDGs問題解決のための活動
また、日本だけではなく世界各地の取り組みも取り上げ、日本と比較しながら				13	活動③	1回目 SDGs問題解決のための活動
世界の未来について自分が起こせるアクションを考え、行動していく。				14	活動の振り返り①	活動の問題提起 振り返り
授業の進め方・学習方法・課題				15	活動の振り返り②次回への提案	改善点の提起
前期では、新潟県のゴール11「住みやすいまちづくり」について、持続可能にするためには				16	活動④	2回目 SDGs問題解決のための活動
どのような工夫や行動が必要かグループで議論する。問題解決のための企業連携を模索する。				17	活動⑤	2回目 SDGs問題解決のための活動
後期では、前期で出てきた活動案を企業・団体と共に実行に移し、振り返りを行う				18	活動⑥	2回目 SDGs問題解決のための活動
PDCAサイクルを年間を通して意識し、グループワークを行う。				19	活動の振り返り③	活動の問題提起 振り返り
				20	活動の振り返り④次回への提案	改善点の提起
評価方法・成績評価基準				21	活動⑦	3回目 SDGs問題解決のための活動
①発表内容40% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物20% ④学習意欲10%				22	活動⑧	3回目 SDGs問題解決のための活動
【成績評価基準】				23	活動⑨	3回目 SDGs問題解決のための活動
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	活動の振り返り⑤	活動の問題提起 振り返り
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	活動の振り返り⑥	改善点の提起
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	活動内容の報告、発表準備①	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	活動内容の報告、発表準備②	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	活動内容の報告、発表準備③	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
				29	活動内容の報告、発表準備④	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
				30	発表①	一年の活動報告
				31	発表振り返り	
実務経験教員の経歴				32	来年度への提言①	来年度の企画立案
				33	来年度への提言②	来年度の企画立案
				34	来年度への提言③	来年度の企画立案

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	オリエンテーション	手話の基礎知識 (目指すもの・評価・検定) 自己紹介
学 科 名	国際観光大学併修科	必須・選択	選択必須	2	自己紹介①	名前 あいさつ 指文字
学 年	2年	担当教員	中林幸恵	3	自己紹介①	名前 あいさつ 指文字
科 目 名	初級手話	時間数	17単位時間	4	自己紹介①	名前 あいさつ 指文字
開講期間	後期	授業形態	対面授業	5	自己紹介②	誕生日 星座 数 年齢 指文字
使用テキスト名	ゼロからわかる手話入門			6	自己紹介②	誕生日 星座 数 年齢 指文字
補助教材	パワーポイント			7	自己紹介②	誕生日 星座 数 年齢 指文字
				8	自己紹介③	年齢 月日 曜日 指文字
科目概要と科目到達目標				9	自己紹介③	年齢 月日 曜日 指文字
手話検定試験6級取得に向けた授業展開 ⇒基本的な手話表現力ができる あいさつ、自己紹介、趣味について相手に尋ねたり答えたりすることができる ⇒更に、お店や窓口で簡単な接客の会話や日付や時刻、金額など数字の入った表現ができる。				10	都道府県①	北海道～北陸地方
				11	都道府県②	関東地方～中国地方
				12	都道府県③	山陰地方～沖縄地方
				13	都道府県④	確認チェック
				14	ゲーム	都道府県カルタ
授業の進め方・学習方法・課題				15	簡単接客手話	挨拶・ご案内他
手話で自己紹介ができるよう、基礎的な手話授業実施。 指文字・挨拶・数字など、ちょっとした接客会話ができるようロールプレイ実施				16	まとめ	まとめ
○対面授業と遠隔授業の併用実施				17	期末試験	手話検定試験6級レベル
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
①定期試験 15% ②授業への積極的参加(出席率)40% ③提出物 5% ④学習意欲30%				22		
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科	必須・選択	選択必須	1	映画と歴史の関係性を解く	映画史とその時の時代背景を理解する
学年	2年	担当教員	坂上啓貴	2	「スタンドバイミー」前編	時代背景を学び文化的考察を行う
科目名	映画で学ぶ文化・歴史・思想	時間数	17時間	3	「スタンドバイミー」後編	
開講期間	2023年後期	授業形態	対面授業	4	感想・考察文作成	文化・社会・歴史的考察を行い、理解を高める
使用テキスト名				5	感想・考察文クラス内発表	他者の意見を聞き、作品への理解度を深める
補助教材				6	「マイ・インターン」前編	文化・人種的背景を学ぶ
				7	「マイ・インターン」後編	
科目概要と科目到達目標 様々な映画を用い、現代につながる文化や歴史的背景について学び、理解する事で国際人としての教養を身に付け、コミュニケーション力向上を図る。				8	感想・考察文 作成	文化・社会・歴史的考察を行い、理解を高める
				9	感想・考察文 発表	他者の意見を聞き、作品への理解度を深める
				10	「フォレスト・ガンプ」前編	文化・人種的背景を学ぶ
				11	「フォレスト・ガンプ」中編	
				12	「フォレスト・ガンプ」後編	
				13	感想・考察文 作成	文化・社会・歴史的考察を行い、理解を高める
14	感想・考察文 発表	他者の意見を聞き、作品への理解度を深める				
授業の進め方・学習方法・課題 毎回課題の映画を視聴し、その映画の文化・歴史的背景を考察する。映画を視聴してどのような感じたか、感想や考察をレポートとして提出、クラス内で発表する。 対面授業と遠隔授業の併用実施				15	映画・ドラマの相違と文化	映画とドラマでの違いを見つけ、考察する
評価方法・成績評価基準 ①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				16	映画監督・俳優・女優から学ぶ人生	映画監督や演者の人生からメッセージを読み解く
				17	映画史レポート提出と発表	今まで学習して気づいたことや意見を記述し発表する
				18		
				19		
				20		
				21		
				22		
				23		
				24		
				25		
26						
27						
28						
29						
30						
31						
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	プロローグ	文学作品の読み方を知る
学 科 名	国際観光大学併修科	必須・選択	選択必須	2	第1章① レポート提出	文章を読み解く力を身につける
学 年	2年	担当教員	阿部塊地	3	第1章② レポート提出	人の意見を聞く力を身につける
科 目 名	現代文学研究	時間数	17単位時間	4	発表①	自分の考えをまとめて発表する力を養う
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業	5	第2章① レポート提出	文章を読み解く力を身につける
使用テキスト名	赤と青のエスキース PHP出版社			6	第2章② レポート提出	人の意見を聞く力を身につける
補助教材	パワーポイント スライド			7	発表②	自分の考えをまとめて発表する力を養う
科目概要と科目到達目標				8	第3章① レポート提出	文章を読み解く力を身につける
				9	第3章② レポート提出	人の意見を聞く力を身につける
2022年本屋大賞2位作品を読み解く。 先を読む力、文章を読み解く力、人の意見を聞く力、自分の考えをまとめて発表する力を養い、就職後に活かせるよう、能動的な姿勢を身につける 一冊の本を元に、物事を深く考え、自分の言葉で人に説明する力を養う。				10	発表③	自分の考えをまとめて発表する力を養う
				11	第4章① レポート提出	文章を読み解く力を身につける
				12	第4章② レポート提出	人の意見を聞く力を身につける
				13	発表④	自分の考えをまとめて発表する力を養う
				14	エピローグ	文学作品を読み解く力を身につける
				15	定期試験 発表⑤	自分の言葉で人に説明する力を養う
授業の進め方・学習方法・課題 授業の3日前までに、決められた章(部分)を読み、解釈を200字程度のレポートで提出する。 授業時はそのレポートを元に発表、話し合いをして進めていく。 定期試験はPPTを作成し、プレゼンテーション形式で発表を行う。				16	定期試験 発表⑥	自分の言葉で人に説明する力を養う
				17	まとめ	
				18		
				19		
				20		
				21		
評価方法・成績評価基準 ①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物 20% ④学習意欲 20% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22		
				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		